

共通科目		保健医療政策学特論 Advanced Study & Research for Health Policy Management		開講	毎年・隔年
				区分	選択
単位	1 単位	科目責任者	園生雅弘 教授（板橋・神経内科）	授業形態	講義・演習

概要	経済学とは、また医療経済学とは何か。本講義ではコストを軸とした健康と豊かさの評価、費用対効果の概念を中心に、公衆衛生の経済学的側面の基礎を身につける。
到達目標	・医療経済学をコスト・効果の対比で理解する。 ・保健と医療の文脈における経済学および経済学的手法について説明できる ・コストの概念を説明できる ・クオリティ・オブ・ライフ(生活の質)を測定し、評価するための技術を説明できる ・費用対効果分析の概念を理解できる
事前事後学修	・事前に講義用資料が専用HP上に公開される。 ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。
評価方法	授業における議論への参加度(50%)、最終の口頭試験(50%)
教科書・参考書	教科書は特に指定しない。 参考書は講義で紹介。
履修上の注意事項	・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。 (※)担当教員については変更となる場合があるが、その場合は記載がある予定教員と同等レベルの教員が任命される。

No.	月日	時間	講義タイトル	担当者	備考
1	1/20(月)	9:00-10:30	経済、医療、そして医療経済学	Alastair Gray (公衆衛生学研究科・客員教授)	大学棟5F 薬学部セミナー室
2	1/20(月)	10:45-12:15	経済学的手法を医療分野に適用する		〃
3	1/21(火)	9:00-10:30	コスト		〃
4	1/21(火)	10:45-12:15	疾病のコストと負担		〃
5	1/22(水)	9:00-10:30	クオリティ・オブ・ライフの測定と評価		〃
6	1/22(水)	10:45-12:15	疾病のモデリングと意思決定モデル		〃
7	1/23(木)	9:00-10:30	優先順位決定のための費用対効果分析の導入		〃
8	1/23(木)	10:45-12:15	還付決定のための費用対効果の導入 (英国のNICEを例に)		〃
その他の演習・セミナー等		・各回終了後には、日本人教員による補講が行われる。			

※講義日程の変更・追加の連絡等がある場合、登録されているメールアドレスに連絡します。

※この科目は、1月に開催されるハーバード特別講義になります。詳細は事務局までお問い合わせください。